

釧路短期大学 道東文化塾2016

—生涯学習の可能性と「知」—

趣旨 21世紀を迎え、基本となる流れは「産業社会・工業社会から知識社会・知識基盤社会」への転換と言われていています。身近なところで出版に取り組み、出版への可能性を蓄積している方にご担当いただき、それぞれの生涯学習、その可能性と明確になった点を示していただきます。

第1回 5月21日(土) 13:30~15:00
横澤 一夫氏(ジャーナリスト)

「『歲月片々』の日々」

『釧路新聞』で「余塵」を担当。投稿は著書『歲月片々』に収録された。現在は同紙の「巷論」の代表的執筆者。＜書き続けること＞とメディアとしての新聞。なぜ、新聞に見識。

第2回 6月4日(土) 13:30~15:00
斎藤 潔氏(ボランティアガイド)

「対談『古事記』に聞く」

自然観察、野鳥の鳴き合わせなど、フィールドで活躍されてきた。近年、書齋に居場所を移し、『古事記』を読みあかす。今回、当時の口承伝承の起源から、話は広がる。

第3回 7月2日(土) 9:00~16:00
佐藤 宥紹(釧路短期大学生涯教育センター長)
西 幸隆氏(釧路市立博物館元館長)

「エクステンションツアーin陸別」

足寄郡陸別町。もと釧路国の一隅であった。高速道路開通で日帰りツアーも緩和。関寛斎旧跡、徳島県移住、国指定史跡ユクエピラチャシ跡に、西幸隆さんが道案内。

第4回 7月16日(土) 13:30~15:00
角田 富男氏(釧路シルクロードの会元団体代表)

「シルクロード踏査記」

惜しまれながら解散した、釧路シルクロードの会の中心メンバー。現地に足をはこぶたびに紀行録を残されている。洋の東西をつなぐ要路に、時代・融合・文化の奥行きに感心。

第5回 8月20日(土) 13:30~15:00
島村 高嘉氏(麗澤大学客員教授)

「日銀のマイナス金利政策」

東京で“社会人のための金融経済教室”が人気を博している。すでに毎年継続かつ定番。本年はもちろん日銀のマイナス金利政策を取り上げる。

第6回 9月17日(土) 13:30~15:00
河田 由美子氏(本学非常勤講師)

「絵本と私」

「絵本は、常にそれを手渡してくれる大人とセットであるべき」との論がある。また、「絵本は大人にとってもおもしろい」。子どもの育ちを支える絵本について、長年の関わりから、おすすめの話。

第7回 10月1日(土) 13:30~15:00
松橋 秀和氏(更科源蔵文学賞の会会員)

「地域で出版 武四郎・源蔵・大鵬」

弟子屈町図書館は更科源蔵文学資料館も開設し、更科源蔵文学賞の運営を支援する。その中核として児童・生徒用副読本の刊行にも異才を発揮。地域で出版の熱意と思い入れを伝える。

- 会場：釧路短期大学講義室
- 募集定員：各30名
- 受講料：各回800円(第3回1,500円) 一括申し込み4,000円
- 受付締切：5月13日(金)まで(定員締切)
- お申込・お問合せ：
釧路短期大学附属図書館 Tel.0154(68)5092

■本講座は、道民カレッジ連携講座《指定講座》*・私立大学等改革総合支援事業「高齢者向けの生涯学習事業」に該当します

*本講座受講により次のとおり単位が取得できます
第3回の受講により必修1単位もしくは「ほっかいどう学」コース6単位
他6講座の受講により必修6単位もしくは「ほっかいどう学」コース9単位

都合により内容に一部変更が生じる場合がございます。予めご了承願います